

循環器外科・麻酔科に通院中の患者さんとご家族へ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児心臓手術における脳酸素飽和度測定の有用性に関する研究—児年齢との関係について—

[研究機関] 北海道大学病院循環器外科・麻酔科

[研究責任者] 森本 裕二 (麻酔科・科長／教授)

[研究の目的]

手術中、脳に十分な酸素が届いているかを監視する事は極めて重要な事です。その目的で、最近、脳の酸素飽和度を体表から測定する機器が使用されるようになってきましたが、この測定機器を使用することが本当に術後の脳障害の予防に有用か、また脳酸素飽和度の値がどういう体の変化に影響を受けるか、まだよく分かっていません。

この研究では、過去に当院において小児心臓手術を受けた患者さんの脳酸素飽和度の有用性と意義を、特に年齢による相違を明らかにして、手術成績の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

心房中隔欠損症もしくは心室中隔欠損症の患者さんで、平成20年8月1日から平成22年12月31日の間に、北海道大学循環器外科にて人工心肺を使用した心臓手術を受けた方(手術時12歳以下の方)

●利用するカルテ情報

- ①基本情報:年齢、性別、身長、体重
- ②疾患情報:疾患名、手術名、治療内容
- ③血液検査結果:肝機能、腎機能、電解質、血算、血液凝固系
- ④画像検査所見:CT、MRI、心エコー
- ⑤手術(麻酔)中の脳酸素飽和度(近赤外分光計INVOS5100で測定)
- ⑥手術(麻酔)中・集中治療室での血圧、中心静脈圧、中心静脈酸素飽和度、末梢動脈血酸素飽和度、呼気二酸化炭素濃度、体温、血液ガス
- ⑦手術・麻酔記録からの情報:麻酔時間、手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間、人工心肺充填液、輸液・輸血の種類と量、尿量、麻酔法、その他使用薬物

- ⑧ 集中治療・診療記録からの情報:術後気管挿管時間、集中治療入室日数、神経学的検査所見、治療後の経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院麻酔科 担当医師 森本 裕二

電話 011-716-1161(内線 5982) FAX 011-706-7861